

本号から連載スタート!

インターネットと子育て

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛の影響もあり、インターネットの利用頻度・時間が増加傾向にあるなか、保護者としてどう子どもに関わっていけばよいのでしょうか? 生涯学習課発行のリーフレット「インターネットと子育て」の内容を中心に、子どもへの関わり方について、家庭教育の視点からアドバイスを掲載していきます。

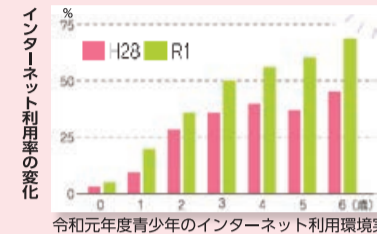
リーフレットのダウンロードはこちら



乳児の保護者の皆さんへ



インターネット利用の低年齢化が進んでいます。子育ては本当に忙しいもの。ついつい動画を流し、子どもが見ているうちに何とか家事を終えるなど、忙しい日々の中、その便利さに頼ってしまいがちですが、「これでいいのかなあ」との思いもあります。保護者はどのようなことに気を付ければよいのでしょうか?



令和元年度青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)
低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査(内閣府)

この時期の子どもは、親等との関わりをとおして愛着を形成し基本的な信頼感を獲得します。この基本的信頼感は幼児期以降の子どもの発達基盤となりますので、親子の関わる時間をとれるように工夫することが大切です。

「おうちで読書」推進事業
絵本の読み聞かせとおとした親子のコミュニケーションは、愛着形成にうってつけです!

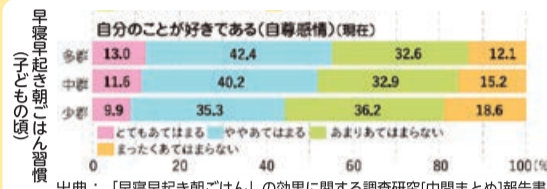


幼児の保護者の皆さんへ



幼児期にゲーム・インターネット等の利用時間が増えてしまうことで、基本的な生活習慣に影響が出る恐れがあります。子どもが動画やゲームに興味を持って夢中になることもあります。保護者はどのようなことに気を付ければよいのでしょうか?

子どもの頃に早寝早起き朝ごはんをよくしていた人
大人になってからも、自尊感情の高い人が多い傾向がみられます。



出典:「早寝早起き朝ごはん」の効果に関する調査研究[中間まとめ]報告書(令和2年7月発行)、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会

◆「自分のことが好きである」人の割合(※)
子どもの頃に●早寝早起き朝ごはんをよくしていた人(多群)…… 55.4%
●早寝早起き朝ごはんをあまりしていなかった人(少群)…… 45.3%
※「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合

幼児期に育まれた生活習慣は、大人になってからも好影響をもたらすことが報告されています。生活習慣のリズムをつくり、子どもが元気に活動できる源としましょう!

問合せ先 生涯学習課 ☎ 077-528-4654



すまいる・あくしよん 今の気持ちを伝えよう!

休業の間、子どもたちからは様々な声がありました。



困った時に相談する人がいてほしい。

友達とあまり会えなくなって、改めて友達の大切さが分かった。学校で会えた時はうれしかった。

今の自分の思いを伝えることができ、気持ちがスッキリした。

ストレスや不安があっても声をあげたり感情表現できない子どもたちがいます。子どもたちが自分の思いを伝えることができる場や機会づくりが大切です。子どもの声を聞いて一緒に考えてみてください。



HPIはこちら

問合せ先 子ども・青少年局 ☎077-528-3550

約4年の休館を経て、 滋賀県立美術館が6月27日に リニューアルオープンしました!!

2階にキッズスペースや授乳室、エントランスロビーにカフェを設置。びわこ文化公園に来た人みんなが気軽に立ち寄れる美術館に生まれかわりました。

とんがった近現代美術だけではなく、歴史を知れる絵巻やほっこりする絵画、わくわくするアールブリュットなど多様な作品を展示するほか、子どもと一緒に参加できる体験プログラムも充実しています。



HPIはこちら ▶



問合せ先 滋賀県立美術館 ☎ 077-543-2111

シリーズ 人権教育

おうちレストラン



新型コロナウイルス感染症が広がる中、今までと同じ生活とはいかないことが多くなり、家族で遊びに出かけられなかったり、ストレスを感じることが増えていきました。高校生の息子は、部活の合宿で、以前のよう元気な顔がなくなってしまいました。私も妻も動いており、帰宅が遅くなり、夕飯はできるだけ家族そろってとるのですが、どうしても家族バラバラになりがちです。家の中の雰囲気も何かさくさくとして、この前の休日、娘が一日中ソファに寝転んでタブレットゲームをしてるのを見て、ムスツとして部屋を出て行ってしまいました。
そんなある日、妻が「次の休みの日は、おうちレストランをやってみない?」と言いました。子どもたちは、「デレバリ頼む?」「ピザが食べたい。」「お寿司もとりたい。」「と、食べたいものを口々に言いました。それを聞いて妻が「ちよっと待って。みんなが作るんだよ。」「と返すと、子どもたちは「そんなの無理。」「一回も作ったことないもん。」「と言いました。妻は、「とにかく自分の作れそうなものでいいから、一人一つずつ作ってみな?お父さんもね。」「とみんなに声をかけました。
子どもたちは、初めのうちは少々といった感じでしたが、「卵何個ある?」「お肉や野菜を焼くだけでもいい?」などとやり取りをしていくうちに、少しずつ和やかな雰囲気になってきました。私はこの前の休日のこともあったので、娘の好物の「ポテトサラダ」に挑戦してみました。
「卵焼き」「肉と野菜の炒め物」「チャーハン」、そして、「ポテトサラダ」が出来上がりました。こげてしまったり、野菜の切り方がバラバラだったり、お世辞にもおいしそうには見えない料理がテーブルに並び、食事が始まりました。「ちよっと辛いな。塩こしょうが多すぎた。」「自分が作った料理を食べた息子が少し臭い感じがする。」「料理の出来ではありませんが、見た目も味も妻が作った料理ほどの出来ではありませんでしたが、娘がポツリとつぶやきました。「でも、今日の晩ごはん、私はけっこうおいしいと思うけどな。」「
その後は、久しぶりに家族の会話も弾み、楽しい団らんの時となりました。
今振り返ると、最近自分の事が中心になって、相手の立場に立って考える心のゆとりがなくなっていたと思えます。でも、このおうちレストランをおして、子どもたちは料理を作る苦労を感じたようですし、私たち子どもたちも新しい一面を知ることができ、家族にとってよい機会になったと思います。
おうちレストランの後、我が家といえは相変わらずの毎日、ついつい愚痴をこぼすこともあり、時々、子どもが晩ごはんの一品を作ったり、食器の洗剤をしぼったりするようにになりました。私も少しずつできることを増やしています。

問合せ先 人権教育課 ☎ 077-528-4592

健康三原則 毎日を元気に過ごすための3つのポイント



- バランスのとれた食事
- 十分な休養と睡眠
- 適切な運動 を心がけましょう。



【“しっかり朝食”応援プロジェクト】
毎日を元気に過ごすための朝食のレシピや作り方を紹介しています。

【すこやか元気アップ運動!!】
お家で体を動かして体力アップができる運動を紹介しています。

問合せ先 保健体育課 ☎ 077-528-4627

今回の『おすすり本』

湖西の山の中で、12年間、昆虫の写真ととりつづけた今森さんの写真集です。「小さな役者たち」の楽しく、すばらしいすがたでいっぱいです。

子ども読書啓発冊子「本がいっぱいシリーズ」からの抜粋です。もっといろいろな本を知りたい方は「におねっと」にデジタル版を掲載しています。ぜひご覧ください。



「昆虫記」

今森 光彦 写真・文
福音館書店(小学校下学年向き)

「におねっと」子ども読書活動支援センターのHPIはこちら



問合せ先
生涯学習課
☎077-528-4652